

# 平成28年度佐賀環境フォーラム実績報告

## 1 実施体制

佐賀大学、学生スタッフ、市民スタッフ、佐賀市で構成する実行委員会形式

## 2 受講等

(1) 受講要件 高校生以上

(2) 受講料 (年間：※スポット受講は講義のみ)

- ◇ 一般 : 5,000円
- ◇ 学生 : 1,500円 ※佐賀大学生は無料
- ◇ 法人 : 1口 5,000円 ※1口で1人枠とし、誰が受講しても可
- ◇ スポット受講者 : 1講義につき 500円
- ◇ スポット受講者(学生) : 1講義につき 200円

(3) 参加者数 ※[参考：昨年度参加者数]

- ◇ 一般 : 15名 [ 8名]      ◇ 佐大生 : 69名 [101名]
- ◇ 法人 : 3社 [ 2社]      ◇ スポット : 38名 [ 32名]

## 3 事業概要

### (1) 講義

期間 : 平成28年5月12日(木)から平成28年7月7日(木)まで(全12回)

時間 : 午後6時30分から午後8時30分まで(※質疑応答含む)

会場 : 佐賀大学教養教育2号館 211番教室

回	講義内容	所属等	講師名	参加者数				
				一般	佐大生	法人	スポット	合計
1	環境問題概論、フォーラム概要説明	佐賀大学 総合分析実験センター准教授 佐賀環境フォーラム実行委員会 事業部長	児玉 宏樹 氏	14	40	4	3	61
2	経済と環境等の問題	佐賀大学 総合分析実験センター准教授 佐賀環境フォーラム実行委員会 事業部長	児玉 宏樹 氏	10	36	4	1	51
3	佐賀大学学生の環境活動	佐賀大学内環境活動グループ	各団体	11	41	3	1	56
4	佐賀で広がるミドリムシの可能性	株式会社ユーグレナ 研究開発部 バイオ燃料開発課 主任研究員 博士(理学)	鈴木 秀幸 氏	11	52	4	12	79
5	グリーン購入から始まる持続可能な社会	グリーン購入ネットワーク会長 東京大学工学系研究科教授	平尾 雅彦 氏	7	37	3	0	47
6	印刷技術を利用した電子素子ものづくり	佐賀大学大学院 工学系研究科 循環物質化学科専攻 准教授	坂口 幸一 氏	9	36	2	0	47
7	九州電力グループの環境活動について	九州電力株式会社 地域共生本部 環境担当	榊原 紀孝 氏	11	40	2	3	56
8	環境応答転写因子とその応用研究	佐賀大学 農学部 生命機能科学科 生化学分野 講師	辻田 忠志 氏	10	44	2	0	56
9	持続可能な社会とエネルギー：技術と経済の視点から考える	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 客員教授	浅野 浩志 氏	10	36	3	8	57
10	「ごみ」は暮らしを映す鏡	京都大学大学院地球環境学学准教授	浅利 美鈴 氏	13	42	3	7	65
11	湖沼水環境に対する河川流域の影響	島根大学 生物資源科学部 地域環境科学科 准教授	宗村 広昭 氏	13	35	3	1	52
12	ホテルのための河川づくり	小城市観光ボランティアガイドの会 (ホテル案内人)	東島 毅 氏	11	39	3	2	55

## (2) 体験講座

### 1) 環境学習会

【日時】平成28年6月26日(日)

【目的】身近な自然に親しみ、自然を理解することで、自然環境を守り、育むという環境保全意識が向上することを目的としている。

【内容】佐賀市内3カ所を周り、水生生物調査を実施。  
(鍋島町蛸久の田圃、多布施川丸川の井樋、赤松公民館付近)

### 2) ごみ探検隊

【日時】平成28年6月19日(日)

【目的】佐賀大学構内のごみの分別について調査することで、3Rや循環型社会の基礎を学び、ごみの減量化に努める環境マインドを養うことを目的としている。

【内容】キャンパス内に設置されているごみ箱の中身を調査・分別したのちグループ毎に改善策の話し合いをし、全体発表をとおして意見の共有をした。その後、佐賀市循環型社会推進課の職員を講師に迎え、佐賀市と佐賀大学のごみ分別方法の違いや、佐賀市のごみ処理にかかる費用等、現状をお話いただいた。

参加者数 ( ) 内は昨年度の参加者数

内 容	一般	学生	法人	スタッフ	計
環境学習会	10(3)	33(26)	1(1)	10(7)	54(36)
ごみ探検隊	3(3)	32(42)	0(0)	7(11)	42(56)
計	13(6)	65(68)	1(1)	17(18)	96(92)

## (3) 現地見学会

【日時】平成28年8月12日(金)

【内容】佐賀市清掃工場や王子マテリア佐賀工場を見学し、主に雑紙リサイクルについて学んだ。  
午前) 佐賀市清掃工場・二酸化炭素分離回収装置・アルビータ(佐賀市高木瀬町)  
午後) 王子マテリア株式会社(佐賀市久保田町)

参加者数 ( ) 内は昨年度の参加者数

	一般	学生	法人	スタッフ	計
参加者数	5(1)	33(27)	1(1)	6(8)	45(37)

## (4) ワークショップ (WS)

### 1) グループWS

①水環境班 ②環境教育班 ③チャリツーリズム班 ④シックスクール班

【スケジュール】

中間報告会 10月27日 研究の途中経過の報告  
研究成果発表会 1月21日 研究成果の発表

### ア 主な研究内容と研究成果

#### ①水環境班

【内容】佐賀市域の水環境のあり方について研究することを目的として、佐賀市内の河川などの水質等を調査する。

【成果】天祐寺川探検における水生生物調査と東与賀分水路における同調査を実施。また、今年

度から蜷川流域のホタルの再生への取り組みとして、水環境と生態調査および、文献調査を始めた。水質調査により、ホタルの成育に適した水質環境であることを確認した。また、さが環境フェスティバルにてパネル展示等を行った。

## ②環境教育班

【内容】 幼保園児を対象とした環境教育を構築することを目的として、幼稚園・保育園等で紙芝居やごみ分別ゲーム等を実施する。

【成果】 今年度は佐賀新聞のエコさが基金の助成金を受け、様々な活動に取り組んだ。佐賀大学で実施した「スズムシの音楽会」、わいわいコンテナ2での「ちりめんモンスター教室」、北山少年自然の家での「1 day 合宿」、鍋島小学校での「出前講座」、ふたばこども園の園訪問、栄の国まつりでの環境紙芝居、さが環境フェスティバルでの「ごみ分別ゲーム」等を行い、子どもをはじめ幅広い年齢層へ環境について考えるきっかけを作ることができた。園訪問では環境紙芝居の後に子ども達に感じた事を絵に描いてもらい、紙芝居の内容が子ども達に伝わっていることが確認できた。

## ③チャリツーリズム班

【内容】 佐賀地域の自然や歴史・文化遺産を活用した観光（エコツーリズム）の確立と自転車利用の促進を目的として、佐賀地域の自然や歴史・文化遺産の調査や、イベントでレンタサイクル事業を実施する。

【成果】 学内放置自転車を活用した「再生自転車」を使用し、バルーンフェスタでレンタサイクル事業を実施した。

## ④シックスクール班

【内容】 市内各施設を調査し、シックハウス症候群を引き起こす原因を分析するため、市内各施設にサンプラーを設置し、空気中のホルムアルデヒドなどの化学物質の調査を実施した。

【成果】 佐賀市内の小中学校（各学校2教室）にサンプラーを設置し、ホルムアルデヒドの濃度を調査した。そのうち、いくつかの教室で基準値を超えるホルムアルデヒドが検出されたため、室温や換気、建築年度等、多方面からの検証が必要であることを確認した。

## 2) インターンシップ型WS

【派遣の法人】

- ① 温暖化防止ネット      ② さが環境推進センター      ③ 三気の会

【スケジュール】

研究成果発表会                      1月21日                      研究成果の発表

### ア 主な研究内容と研究成果

#### ①温暖化防止ネット

【内容】 エコドライブ普及推進活動や環境出前講座、緑のカーテン講習会など、すぐに実践できる省エネ活動の普及啓発に取り組んでいる。また、環境保全活動等に取り組む市民、団体等の取り組みをPRする機会づくりとして、さが環境フェスティバルなどのイベントを開催している。

【成果】 県内各地で行われた燃料電池自動車の試乗会や鹿島市での「地球に触れる夏休み」、森林公園での「さが環境フェスティバル」など、多数のイベントに従事した。さまざまな環

境講座やイベントに携わるなかで、行政等の団体の環境保全・改善への取り組みを知ることができた。また、活動を通して学んだ事を今後の自分自身の生活に活かしていきたいと感じた。

### ②さが環境推進センター

【内容】環境問題等に取り組んでいる団体、事業所と連携をしながら、まちづくり地域活性化を推進していくことを目的に活動している。また、ごみ減量、資源の有効利用に関する情報の発信、リユース品の販売、エコマーケットや体験イベント等を開催している。

【成果】「ねりねり石鹸づくり」や「紙すき体験」を行い、資源の有効利用の普及啓発を行った。また、「糸つむぎ」を行い、ものを作るためには多大な労力が必要となることを知ってもらい、ものを大切にすることについて啓発を行った。

### ③ 元気・勇気・活気の会（三気の会）

【内容】自然環境が維持、保全される社会を実現するため、人と環境に優しい無農薬・無化学肥料で安全、安心の農作物作りを目指す有機農業の普及を図っている。

【成果】「ほんなもんぼ体験学校」への参加を通して農業の地道さと大変さや収穫の喜びを学ぶことができた。普段の食卓で並ぶ食材は農家の方の苦労があつてのことだということを知り、食事のありがたさを痛感することができた。

## (5) イベント

### ○佐賀環境フォーラム 15周年記念特別講演会

講師に気象予報士の天達武史さんを招いて、実験やクイズを交えながら地球温暖化の話などを講義していただいた。

日 時：平成28年5月14日（土）13：30～15：00

場 所：佐賀大学 教養教育大講義室

参加人数：【学生】74名 【一般】73名 【スタッフ】7名 【合計】154名

### ○第45回佐賀城下栄の国祭り「きてみん祭ビッグパレード」

きてみん祭ビッグパレードへ参加し、佐賀環境フォーラムのPRを行うとともに、環境にやさしい行動の実践を呼びかけた。

日 時：平成28年8月7日（日）13：30～14：00

場 所：シンボルロード（佐賀銀行～佐賀中央郵便局横）

参加人数：約80人

### ○平成打ち水夏の陣2016

広く打ち水の実施を呼びかけることにより、環境に配慮する意識を向上してもらおうきっかけとした。また、市民から提供を受けた浴衣を参加者（外国人）にプレゼントをし、リユースの取り次ぎをした。

日 時：平成28年8月7日（日）

16：00～16：20

環境教育班による環境紙芝居上演

16：30～17：00

打ち水

場 所：佐賀商工ビル駐車場

参加人数：約70人

○2016さが環境フェスティバル

佐賀環境フォーラムの活動を来場者に紹介、PRする機会としてフェスティバルに参加出展し、使用済み紙パックを使ったハガキ作り体験を行った。

日 時：平成28年11月12日（土）、13日（日）10：00～16：00

場 所：佐賀県立森林公園

**（6）終講式**

【日時】 平成29年1月21日（日）14：00～17：00

【修了者数】 ①一般 10名（15名中） ②法人 2社（3社中）